



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.43

令和2年11月6日

文責：校長 伊藤孝行

第2回避難訓練を行いました。

第2回目の避難訓練を実施しました。今回は火災を想定しての実施ですが、前回とは出火場所が違うため避難経路も違ってきます。



今回は、話をよく聞き出火場所を確認し、出火場所から遠くなる避難経路を選ぶことが主なねらいです。いざというときの備えとして避難訓練は大切です。はじめは学級全体で行いますが、最後は自分の判断で安全に避難できる子どもを育てていきたいと思えます。

調理実習も順調に進んでいます。

1学期は新型コロナウイルスのため、子どもたちの学習活動に様々な制約がありました。理科のグループでの実験や音楽で歌を歌うこと、調理実習などが該当する学習活動です。

2学期に入り、国や県から学習に関する指針等が出され、学習活動の制約がなくなりました。

本来なら1学期に実施するはずの調理実習は、5年生も6年生も2学期にスライドしました。

調理実習は、家庭科の学習の中でも子どもたちが楽しみにしている学習です。昨日、6年生は野菜炒めの調理実習を行いました。



自分たちの楽しい気持ちと学習成果を先生方に

伝えたくて、出来上がった野菜炒めを職員室や校長室に運んできてくれました。

子どもの反抗期は成長の証です。

子どもも10歳前後になると、反抗的な態度をとったり、いらいらした雰囲気を出したりすることがみられるようになります。

これが「反抗期」と呼ばれるもので、家庭の中でこのような会話は無いでしょうか。

親 「宿題は終わったの？」

子 「わかってるって、うるさいな！」

親 「明日は早いからもう寝たら。」

子 「いちいちうるさいな。」

10歳前後から見られる「反抗的な態度」や「無口」「不機嫌」は、子どもの心がおとなに少しずつ近づいている証拠とも言えます。

誰もがこの道は通ってきたもので、私たちも反抗期の頃は、親を怒らせたり心配させたりしてきました。親になってみると、反抗期の子どもの取扱いの大変さに気づくものです。

うちの子そろそろ反抗期?と思ったら、以下の点に注意して、子どもと接することを心がけると子どもも安心して反抗期を乗り越えることができます。

- ① 反抗的な態度は、心と体の成長のアンバランスから来るもので、いずれは落ち着く。
- ② 細かなことには目をつぶり、子どもに任せたり考えさせたりする部分を増やす。
- ③ 親として許せないことはきちんと伝える。
 - * 人の心や体を傷つけること
 - * 法律に違反するようなこと



子どもの言動に腹が立つことや親の思いが伝わらず悲しくなる時もあると思いますが、そんな時は、そっと寝顔をながめてみましょう。生まれてきてくれたときの嬉しさや可愛さを思い出して、きっと親として頑張れます。